

氣候及地勢

氣候は温和にして北路各地の如く不順ならず。河川は大出水の外、四時共に騎渡し得べく、冬季氷の厚さは約一尺に達す。地勢は山を負ひ水を帶び、土地豊饒、且つ新疆の最西に位置して、露領土耳其斯坦巴密爾、英領印度に交通の便あり、古來屢々兵燹の害を受けしも、現今尙ほ依然として一大都會たるを失はず。毎年八、九、十月の交亞刺比亞メツカ參拜の爲め、此地を經過し、露境に入る者實に一萬五千を下らずと云ふ。

露國領事館内に於て從來自國との公文往復及爲替を取扱ひつゝ在りしが、更に二ヶ月前、新に普通の郵便局を開設し、驛傳を設け、四日にして露領イルキスタムの電信郵便局に送達することとせり。

露國の國境配兵

露國領事館には、六十騎の護衛兵を置く、其他露國の國境配兵大略左の如し。

イルキスタム	(露國境、安集延街、達坂の西)	哈薩克二十五騎	オシ	步兵千名	安集延步兵
千名	ナリン	哈薩克八十騎	ギルシャ	哈薩克百二十騎	パミール步兵三十、哈薩
克二十騎	タシユクルガン	(蒲梨廳)	哈薩克十三騎	ギシット、ラバット	哈薩克十八騎

初め予の漢城に着するや、先つ知府蔣光陞氏を疏勒府衙門に訪問す。蔣知府快